

教材研究ノート№3-A-13

④共同追究後半（思考を深める）

「ミリセンだけを使って，できるだけ簡単に表す方法をつくれないかな？」

→「一の位より小さい位をつくればいい。」

「たとえば，3｜①3②4とすると，言葉より短くなる。」

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの表し方にも同じように言えることは何だろう？」

→「10に分けた1つを単位として測っている。」

「はしたの長さを表すのに困ったことはないかな？」

→「人間界だと㎝とか㎜を使って簡単に表せるけれど，ミリセンだけでは，表し方が長くなってしまう。」

③個人追究:長さ調べの学習を想起して追究し，説明する。

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・1つの単位ではしたの大きさを表すには，1を10等分して，1より小さい数表す位をつくればよい。（3.34と表し，小数という。）

・小数を使えば，㎝だけではしたの大きさを表せそうだ。

②学習課題:１ミリセンを10等分したものさしを使い，はしたの部分の長さを表そう。

②見通し:ミリセンだけでは，はしたの部分を表すことができない。

→㎝から㎜を作ったように，10に分けた量で測ればよい。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・長さの単位（任意単位）の意味を理解し，

任意単位を使って長さを求めることができる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・㎝やℓの単位で測ることができないはしたの長さやかさを，㎜やdℓの単位を用いて測る学習をしている。

○共同追究でのゆさぶり

・単位を変えずに，はしたの長さを表す経験は初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・10のまとまりで位を上げる十進位取り記数法を学習している。

⑥定着･活用問題

Ｂ先生の身長を調べ，小数を使って表そう。（単位はミリセン）

≪学習問題≫

てつや君から手紙がきました。

「人間界のＡ先生の身長が，何ミリセンなのか教えてください。ミリセンは私の世界の長さの単位です。」

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・物語風の導入に興味を抱かせながら，ミリセンは長さの単位を変えることで大きさが違ってくることに気づかせたい。

・これまでは，はしたの大きさを表す方法として新たな単位を導入する学習をしているので，本時も新たな単位をつくろうとする子どもが多いと考えられる。その考え方のよさを認めた上で，1つの単位ではしたの大きさを表すことに焦点化したい。